

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 谷口 優
幹事 竹内 克豊
広報・会報委員長 池森 由幸

No. 24 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会
第1441回 平成25年 1月 29日 (火)
節分例会

於：城山八幡宮 午後5時30分



先週の例会
第1440回 平成25年 1月 22日 (火) 曇
友愛の日

- ◆奉仕の理想
- ◆四つのテスト
- ◆ビジター紹介 川崎RC 布野 雅一 君
- ◆出席報告

会員	37 (32) 名	出席	27 名
出席率	84.38%		
前々回	1/8 (修正出席率)	96.97%	
- ◆2月会員誕生日

西川 豊長君 (2/12)	小林 英毅君 (2/14)
堀江 宏輝君 (2/16)	



竹内幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方々には3F 桜の間にお集まり下さい
- 2) 次回例会は、節分例会で場所時間共に変更となっております。5:30からですので、出席の皆様はお間違いなきよう宜しくお願い致します。

谷口会長挨拶

日本の消防について

日本の消防の歴史および消防の業務についてお話します。

昨年は職場例会で、名古屋市の市議会および消防の指令センターを見学させていただきました。

また1月18日に千種消防署主催の優良消防関係者に対する表彰、感謝状授与式に参列して参りました。

そこで改めて消防の意義について考えてみようと思った次第です。

1. 近代消防について

江戸時代は、いわゆる火消し組織が存在し、その活動は、延焼を防ぐと言う破壊消火活動であり、消火技術としては未熟なものでした。

明治時代には、内務省に消防組織を警察機関の一部と位置づけ、いわゆる警察消防としてスタートします。技術面では、簡易ポンプ・蒸気ポンプが輸入され近代消防の戦術が導入されます。ポンプおよびホースを利用して直接火元を鎮火する戦術が取れるようになったのです。このような戦術の得とくと共にその拠点となる消防署が成立して行きます。

大正時代になると電話の普及及び自動車ポンプが輸入され、都市を中心として消防が充実して行きます。昭和になると地方都市でも手引きガソリンポンプや三輪消防ポンプが普及します。

第二次大戦後は、GHQの指導で消防組織は警察から独立し、1948年に自治体消防制度が発足します。戦中に消防団として組織された消防組も警察から分離され消防団として再出発します。20世紀末までに消化常備化がほとんど完了し、日本の消防は世界的にも非常に優れた組織・技術を持つに至ります。

2. 消防の任務について

消防の任務は、警防、救急、救助、予防に大別されます。

(1) 警防

これは、消防隊を火災現場へ赴かせ、ポンプなどによる消火活動業務を指します。

このような現場活動業務以外には、火災、救助の通報を受信し、各隊へ出動を指令する通信指令業務も含まれます。職場見学で名古屋市の消防司令センターを見学させて頂きましたが、このセンターの業務が警防の任務の一部です。ここに通報を集中させ、ここより所轄の消防署、消防団に出動指令が発せられます。現在では、固定電話・携帯電話を問わず通報を受ければ、発信場所の位置を確認して素早い行動が可能となっています。

(2) 救急

救急は、生命・身体に危機が差し迫った傷病者を病院まで搬送する業務です。

この救急業務が法制化させたのは1963年で、以後救急出動件数は増加の一途をたどり、2000年代には年

3分間スピーチ

“忘れ得ぬ人 秋山茂則 さん”

西川 豊長 君



千種ロータリークラブは昨、平成24年創立30周年を迎えました。創立は昭和57年8月16日であります。

私の入会は、同年9月28日ですから、ざっと30年、よく続いたものと思います。

この間ふり返って忘れ得ぬ人、それは秋山茂則さんです。

私が入会して初めての例会の日、ふと傍に寄って来たのが秋山さんでした。「西川さんじゃないですか」といわれ、顔を見て思いました。

私は名古屋高等裁判所に裁判官として在官当時、飛騨川バス転落事故の国家賠償事件を裁判長として担当し、秋山さんは、原告（控訴人）団長をしておられました。立場上、二人の間には大きな隔りがありましたが、事件は判決しても上告されることなく確定し、思い出すこともなく時は過ぎて行きました。

その後、私は公証人に転じ、縁あって、千種ロータリークラブに入会し、秋山さんと再会したのであります。私はかねて、この事件は、原告団の数も多く、これを取りまとめただけでも並み一通りの苦労ではなかろうと思っていました。それが、ロータリアンとして、じかに接してみると、独特の人間性の幅と奥行きを持っておられることを感得しました。なかなかダンディーで、パイプたばこをくゆらし、カラオケを歌いまくるなど、また出版人としても、活躍しておられました。ロータリアンとしては、会長当時に、ニコボックスの抛出を毎回千円ずつ出すようにして、とてもやり易くなり、現在でも続いております。秋山さんが如何にアイディアマンであるか、の一面だと思えます。

私は秋山さんと終生の友として長いおつきあいをとって思っていたのですが、病のため退会され、それもおかないませんでした。ご冥福をお祈りします。

“頑張れば夢は叶う”

大谷 恩 君



1月13日に全日本バレーボール高等学校選手権（春高バレー）の決勝戦が行われ、星城高等学校が優勝し三冠を達成いたしました。

本校のバスケットボール部も年末に広島で開催された全国大会の決勝戦で愛媛県の聖カタリナ高等学校を退け優勝し、今年度は二冠を獲得いたしました。

高校の全国大会は一年間に3回あります。夏の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）、秋の国民体育大会（成年の部と少年の部に分かれ、高校は少年の部）、一年間の締めくくりの大会である全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会（ウインターカップ）

間500万件となり、年間の火災件数（7～8万件）と比べると格段に多く、消防の主任務になりつつあります。軽度の怪我、病気による要請が多く、真に救急搬送を要するのは200万件程度とされています。

救急隊員は、医療行為を行うことは認められていませんでしたが、心肺停止等の緊急性を要する傷病者につき早期の医療処置が必要であることから、1991年に救急救命士制度が創設され、この資格者は特定の医療行為の実施が可能となりました。救急隊には最低1名の救急救命士の配置が法制化され、その配置が進められています。

2003年以降、救急救命士は電氣的助細動、気管挿管、薬剤の投与（アドレナリン）が行えます。

（3）救助

災害や事故により危険の迫った者を救出する業務です。たとえば、事故車に閉じ込められた乗員・乗客を救出することなどがそれですが、事故車に搭乗者等がいなくても、ガソリン漏れ等がある場合、その危険を排除する「危険排除」ための活動もこれに含まれます。

その範囲としては、水難事故、山岳事故、地震などの際の捜索・救助も含まれます。それ以外にもエレベーター停止による閉じ込め、ひとり暮らしの人の急病の際の鍵を解錠し救出することも含まれ、その範囲は広範に及びます。日本は地震大国であることから、それに備え特別救助機動部隊（ハイパーレスキュー隊）が東京消防庁等に創設されています。このように日本の消防レスキュー隊は、世界でもトップレベルにあります。

（4）予防

予防は、火災の原因を調査し、火災が発生しないよう建物管理者へ指導を行う業務です。

建築確認の際に行われる『消防同意』、『建物への消防用設備の設置の指導』『危険物の規制』『防火対象物への予防査察』『民間事業所の自衛消防組織への指導育成』などが、予防業務の範囲です。

消防は我々が生活するなかで、その生命身体を守ってくれる、なくてはならない制度です。そこで活動する方々に対する感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。これをもちまして会長挨拶といたします。



お知らせ

鈴木聖三カウンセラー より

3月に米山奨学生 張 詩玉さんが中国へ帰国されますので、3月12日（火）の例会が最後の日となります。また同日、午後6時30分より 張 詩玉さんを囲んでの特別企画を企画致しております。是非ご参集下さい！

詳細につきましては後日、事務局よりご案内させていただきます。よろしくお祈り致します。

の三つの大会が行なわれます。今年度、本校は秋の国体は負けてしまい三冠を達成することはできませんでしたが、夏のインターハイ、冬のウインターカップの二つの大会で全国優勝することができ二冠を獲得いたしました。

思い出しますと私がちょうど高校生の時に本校のバスケットボール部の強化の話がありました。私も私立高校で運動部に所属していましたので、当時の名短付のバスケット部のことが気になっておりました。1983年(昭和58年)に一年生だけで愛知県で開催されたインターハイ、安城インターハイ初出場しベスト8になりました。そして、現在本校でご指導いただいている井上先生が1986年に本校に赴任され、その年の岡山インターハイで初優勝いたしました。その後、優勝を積み重ねインターハイ18回、国体15回、ウインターカップ18回合わせて51回の全国優勝、10回の三冠を達成することができました。井上先生は現在66歳ですが、秋田県の能代工業高等学校の男子バスケット部が成し遂げた全国優勝58回という記録を破りたいと闘志を燃やしていますので皆様も本校のバスケットボール部の今後の動向に注目をしていただきたいと思います。

昨年の夏にはロンドンオリンピックが開催されました。日本選手団は過去最高の38個のメダルを獲得しましたが、メダルを獲得した選手たちは口々に「素晴らしい仲間と巡り会ったお蔭でメダルを取ることができた。」「いろいろな人に支えられメダルが取ることができた。」「そして、卓球の福原愛選手は「こつこつと頑張れば夢は叶う」と銀メダルを手にした喜びをかみしめていました。本校のバスケットボール部の選手たちも選手同士、仲間同士がミスをも助け合い励ましあい、監督、コーチ、保護者、いろいろな人の支えがあって優勝ができたのだと思います。また、「こつこつと頑張れば夢は叶う」この言葉通り選手たちはあきらめず頑張った、努力をしたからこそ全国優勝という夢は叶ったのだと思います。しかし、1・2年生の夢は来年度に続きます。「三冠達成」この夢が叶うように今後もこつこつとあきらめず努力を続けて欲しいと思います。



◆表 彰 在籍30年御祝

宮尾 紘司君 笹野 義春君



おめでとうございます!

◆1月 理事役員会議事録 (1/22)

- 1) 第2520地区 「仙台空港をバナーで埋め尽くし被災者を見守る」 「仙台空港にモニュメント建立」プロジェクトの件
バナーの寄贈 承認
寄付 1口(10,000円) 承認
- 2) 新入会員候補の件
株式会社 名古屋三越 星ヶ丘支店
取締役 店長兼営業統括部長 貴志 浩司様
4月より入会 承認
- 3) 2013-2014年度新地区補助金申請の件
東山総合公園より
寄贈希望品提案 小型運搬車
奉仕活動案 ①プランターへの草花植え付け
②ビートルヘッドへの落ち葉入れ
上記提案活動及び寄贈品 承認
- 4) 会員増強について
会員増強プロジェクトを宮尾君リーダーとして立ち上げる。
プロジェクトメンバー等、宮尾君に一任 承認
- 5) 地区東日本大震災支援
「被災住民に安全なおいしい水を提供するプロジェクト」
寄付報告
年末家族会募金より20,000円寄付 (12/21)
- 6) 歳末募金報告 88,800円寄付 (12/26)
中日新聞社社会事業団へ振込
- 7) 年末会員家族懇親会収支報告
春季家族会の件 2/19の親睦委員会で決定する
- 8) 小林 明君 退会届提出



◆米山奨学生・学友合同クリスマス忘年会 報告

2012年12月15日(土) ホテルキャッスルプラザにて米山奨学生・学友合同クリスマスパーティーが開催されました。



奨学生と学友によるマジックショーや、民族ダンスの披露など楽しみました



ニコボックス

布野 雅一君 (川崎 RC)

久しぶりでお伺いしました

堀江 宏輝

ホームクラブご無沙汰しました

宮尾 紘司

入会30年となりました。

これからも、よろしく御指導下さい！

太田 和孝

遠い異国の地に亡くなられた同胞に哀悼の意を

表します

笹野 義春

お陰で入会30年となりました

今後共宜しくお願い致します

渡邊 源市

健文先生の御息様

日展入選おめでとうございます

萩原喜代子

池森 由幸

伊藤 健文

加藤 重雄

川端 圭

近藤 和幸

柵木 充明

大口 弘和

大谷 恩

佐久間良治

鈴木 理之

鈴木 聖三

竹内 克豊

竹内 眞三

舎人 経昭

30年在籍 御祝！宮尾君 笹野君

3分間スピーチ 西川君 大谷君

宜しくお願いします

109,000円

わが2760地区は日本の中央に位置し、約4800人と最大の会員数を持ちますが、情報発信は東京、大阪に比べまだ少ないと思います。

幸い今年度は地区内交流が芽生えましたが、さらに進め地区外交流、国際交流を発展させる事も、2760地区の知名度を上げるリソースとなります。

私の所属する西尾RCは一昨年富士山頂登山に続き、昨年12月2日那覇マラソンに23名で参加しました。内4名が完走しました。私は中間点まではなんとか制限時間内に到達しました。

翌日は那覇南RCの例会に出席し、交流ができて会員にとっても楽しく有意義な旅行となりました。

次年度もロータリーという素晴らしい友人が出来る機会を多くの会員に体験していただきたいと思います。

本年もどうぞ宜しく。



ガバナーノミネー 近藤 雄亮 君
(名古屋瑞穂RC)

新年明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

さて、昨年ガバナーノミネーのご指名を頂きましてから、色々な勉強をしなくてはいけないと思い、できるだけ多くの会合に出席させて頂いております。

世の中が政治・経済など大きく、スピーディに変化をしている中、ロータリーも大きく変化させる為、RI はじめ日本のロータリーも色々努力をしていることが少しずつ分かるようになってきました。

例えば戦略計画の推進、ロータリー財団の未来の夢計画の発進などです。

東京で行われました会合を通じ他地区の人達とも仲良くなれました。

お話をしていると、各地区・各クラブ色々な考え方、やり方をもってロータリー活動をしておられます。

ロータリーの考え方の一つであります中核となる価値観の中の多様性が強く感じられます。

ロータリーのルールが時代の要請とともに変化をしていきます。しかし、その中で時代の変化に関係なく変わらないものは一体何だろうと思います。

私は何故ガバナー職を受けたのかという問いかけに“ロータリーが好きだから”と答えます。できるだけ大勢の人に会い多くの事を学ぶことにより答えを探したいと思います。

宜しくお願い致します。



ガバナー月信 1月号より

《 新年のごあいさつ 》



ガバナーエレクト 田中 正規 君
(西尾RC)

新年おめでとうございます。

本年も平和で穏やかな年であるようお願いしています。

私にとっても益々ロータリーが日常の時間を占める年になりそうです。

1月にサンディエゴで行なわれる国際協議会から始まり、7月には千田ガバナーからバトンタッチします。

次回例会：平成25年2月5日(火) 4F 栄の間
講演“パワハラ時代を乗り越えるリーダーの指導力”(株)ミュゼ 代表取締役 斎藤直美様